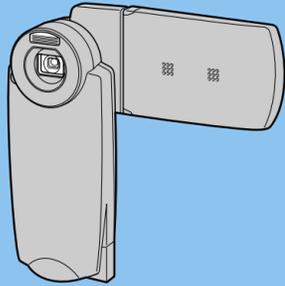


はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
本書と別冊の「サイバースhots取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DSC-M2

Cyber-shot



あわせてご覧ください。

取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。

サイバースhotsの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

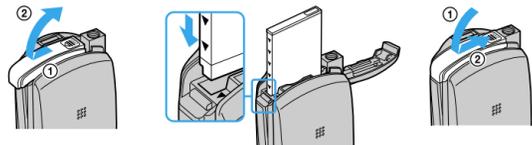
警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

「活用編・困ったときは」の3ページ、107ページから109ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。ご使用前によくお読みいただき、製品を安全に正しくお使いください。またお読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

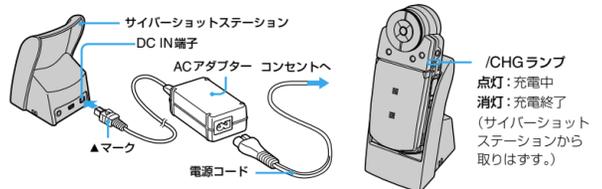
1 バッテリーを準備する

1 バッテリーを入れる。



バッテリー/メモリスティックデュオカバーを矢印の方向にスライドして開ける。
バッテリー挿入口の▼マークとバッテリー側面の▼マークを同じ向きにして、ロックがかかるまで押し込む。
バッテリー/メモリスティックデュオカバーを閉じる。

2 ACアダプター(付属)とサイバースhotsステーション(付属)をつなぐ。

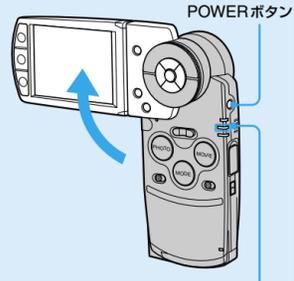


- 付属のバッテリーを使い切ってから満充電まで、温度25℃で約150分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- フラッシュ充電中も/CHGランプが点灯します。
- ACアダプターは、お手近なコンセントにつないでください。使用中に不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- バッテリーの充電が終わったら、ACアダプターをサイバースhotsステーションのDC IN端子と壁のコンセントから取りはずしてください。

ACアダプターのみで充電するには

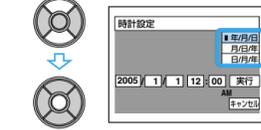
サイバースhotsステーションがなくてもバッテリーを充電することができます。
→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

2 電源を入れ、時計を合わせる

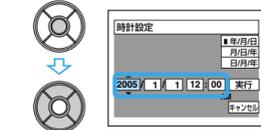


2 コントロールボタンで、時計を合わせる。

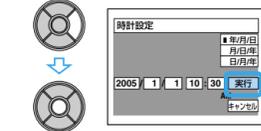
1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。



2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。



3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。



• 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

1 液晶画面を矢印の方向に開き、見やすい角度に向ける。

撮影モードランプが緑色に点灯します。

- POWERボタンを押しても電源を入れることができます。

3 “メモリスティックデュオ”(別売り)を入れる

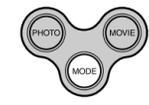


「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

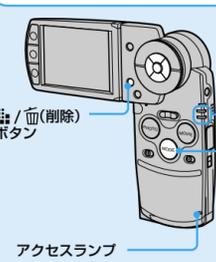
“メモリスティックデュオ”が挿入されていないときは本機で撮影できません。

4 用途に合わせて画像サイズを決める

1 MODEボタンを押して、撮影モードにする。



- 撮影/再生モードランプ(緑)のうち、点灯している方が現行のモードです。



2 画(画像サイズ)ボタンを押す。

3 コントロールボタンの◀/▶で[静止画サイズ]か[動画サイズ]を選び、▲/▼で希望の画像サイズを選ぶ。



- 静止画のときの画面です。
- 動画のときは[640(30f)]、[320(30f)]または[320(15f)]から選びます。
- 画面の右下に静止画の撮影残枚数/動画の撮影時間が表示されます。

4 画(画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。



2638429020

付属品の確認をしてください

- 万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
- ACアダプター AC-LS5(1)
- 電源コード(1)
- USBケーブル(1)
- AV接続ケーブル(1)
- リストストラップ(1)
- CD-ROM(サイバースhotsアプリケーションソフトウェア/Nero Vision Express 3)(2)
- サイバースhotsステーション UC-MB(1)
- サイバースhots取扱説明書 はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバースhots取扱説明書 活用編・困ったときは(1)
- 保証書(1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-FT1(1)/バッテリーケース(1)

“メモリスティックデュオ”は付属していません。本機で撮影を行うには“メモリスティックデュオ”が必要です。撮影前にお読みください。

“メモリスティックデュオ”：本機で使用可能です。



“メモリスティック”：本機で使用できません。

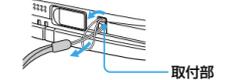


その他のメモリーカードは使用できません。

- “メモリスティックデュオ”について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」99ページ

ご注意

- はじめにお使いになるときは、付属のバッテリー NP-FT1を充電してください。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶついたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

サイバースhotsオフィシャルWEBサイト

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問

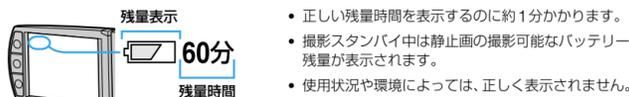
テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979 (おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間：月～金曜日：午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日：午前9時～午後5時

コンセントの電源で本機を使うときは

付属のACアダプター AC-LS5を使うと、コンセントにつないで使うことができます。
→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

バッテリーの残量を確認するときは

液晶画面を開くか、POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。



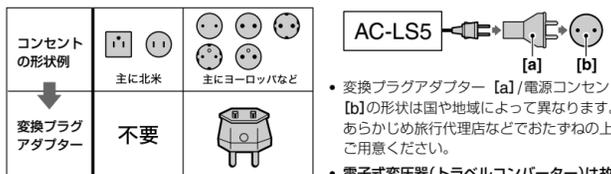
バッテリーを取り出すときは

バッテリー/“メモリスティックデュオ”カバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを矢印の方向に押し取り出してください。取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。



海外で使うときは

付属のACアダプター AC-LS5は全世界(AC100V～240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。



- 変換プラグアダプター [a]/電源コンセント [b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

時計合わせをやり直すときは

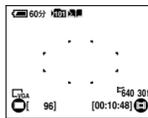
☰(セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順2を行う。→別冊「活用編・困ったときは」50、60ページ

時刻表示について

- 手順2-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意

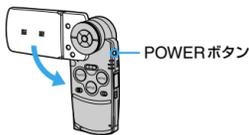
- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



- ☰(セットアップ)メニュー画面で、アルファツールの[書きこみ]が[入]に設定されているときは、電源を入れてから撮影が可能になるまでに、時間がかかる場合があります。

電源を切るときは

液晶画面を矢印の方向に閉じるか、POWERボタンを押す。



- 再生モードのとき、液晶画面を上に向けて閉じた場合は、電源は切れません。
- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」13ページ
お買い上げ時の設定は、✓で示しています。

静止画画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓ 5M (2592 × 1944)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3.2* (2592 × 1728)	写真のL判でプリントする場合 より多くの画像を撮影する場合 Eメールへの画像添付やホームページ作成の場合	↑ ↓	↑ ↓
3M (2048 × 1536)			
1M (1280 × 960)			
VGA (640 × 480)		多い	粗い

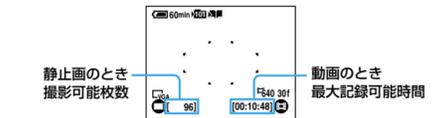
* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3.2の横縦比で撮影します。

動画サイズ	用途の例
✓ 640(30fps)	よりきれいで、なめらかな動画を撮る場合
320(30fps)	より多く動画を撮影する場合
320(15fps)	

- [fps]とは、1秒間に何枚のフレームがあるかを表しています(Frame Per Second)。なお、実際に撮影されるフレーム数は、撮影状況、被写体によって数値と異なる場合があります。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」24ページ



- 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

“メモリスティックデュオ”を取り出すときは

アクセラランプ バッテリー/“メモリスティックデュオ”カバーを開け、“メモリスティックデュオ”を1回押す。

アクセラランプ点灯中は

絶対にバッテリー/“メモリスティックデュオ”カバーを開けたり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

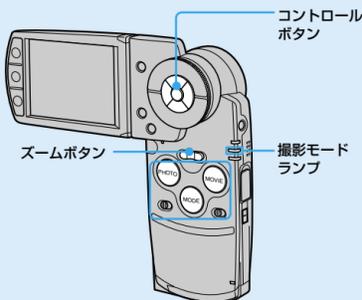
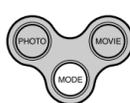
5 簡単に撮る(オート撮影)

持ちかた

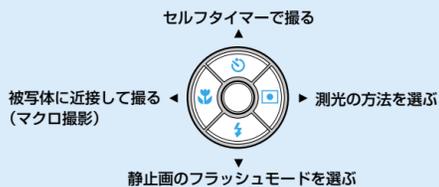


カメラを構え、被写体をフレーム中央部におさめる。

1 MODE ボタンを押して、撮影モードにする。

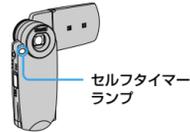


コントロールボタンの機能を使うには



セルフタイマーで撮る

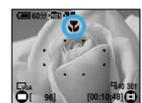
手順②の前に、コントロールボタンの▲(S)を押す。PHOTO ボタン/MOVIE ボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピピピピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。やめるには、もう1度▲を押す。



- セルフタイマーで動画撮影を始めたとき、撮影は自動で停止しません。
- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

手順②の前に、コントロールボタンの◀(M)を押す。やめるには、もう1度◀を押す。

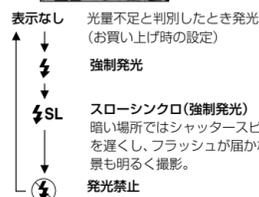


- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。
- 近接(マクロ)撮影よりさらに近距離で撮影したい場合は、シーンセレクションの[Q] (拡大鏡モード)をご使用ください。

レンズ先端からの撮影可能距離
W側いっぱいとき: 約8 cm
T側いっぱいとき: 約25 cm

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▼(F)を押す。押すごとに、設定が変わる。



- フラッシュ推奨距離 ([ISO] が [オート] の時)
W側: 約0.1 ~ 2.6 m
T側: 約0.5 ~ 2.1 m
- フラッシュは2回発光し、1回目が発光量を調整します。

測光の方法を選ぶ

露出を自動で決めるとき、画面のどの部分で光を測る(測光)のか選びます。

スポット測光([Q]): 被写体の一部分に焦点を当てて測光します。逆光にある被写体や、背景とのコントラストが強いときに便利です。

マルチパターン測光(表示なし): 画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動的に調整します。

手順②の前に、メニューの[カメラ]を[オート]以外にする。→別冊「活用編・困ったときは」35ページ
コントロールボタンの▶([Q])を押す。やめるには、もう1度▶を押す。

2 撮影する。

画面に[MF]が表示されているときに画像を撮影すると、小サイズの同一画像が本機のアルバムにも保存されます→別冊「活用編・困ったときは」30ページ

静止画のとき
PHOTO ボタンを半押ししてピント合わせ
AE/AFロック表示 点滅 → 点灯
PHOTO ボタンを深く押し込む



液晶画面横のPHOTO ボタンでも撮影可能です。ただし、半押しはできません。

動画のとき

MOVIE ボタンを深く押し込む



録画を止めるには、もう1度MOVIE ボタンを深く押し込む。
• 撮影時間が残り少なくなると、液晶画面下の●が点滅します。
• 液晶画面横のMOVIE ボタンでも撮影可能です。

ズームするには



• レンズの倍率(3倍)を超えると[デジタルズーム]になります。
[デジタルズーム]については→別冊「活用編・困ったときは」51ページ



- スポット測光の場合、測光する場所とフォーカスを合わせる場所を一致させたいときは、[e] (フォーカス)を[中央重点AF]にすることをおすすめします。→別冊「活用編・困ったときは」38ページ

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50 cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体:

- 被写体が速くて暗い
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- 点滅する被写体
- ガラス越しの被写体
- 逆光になっている被写体
- 高速で移動する被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」18ページ

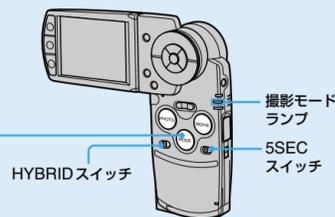
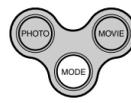
液晶画面を回転させて撮る(対面撮影)

液晶画面をレンズ側に180度回転させ、液晶画面横のPHOTO ボタン、MOVIE ボタンで撮影することができます。液晶画面に映る画像は鏡のように映りますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。



写真とビデオを楽しむ(ハイブリッド撮影/5秒REC)

1 MODE ボタンを押して、撮影モードにする。

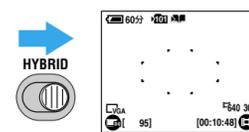


ハイブリッド撮影

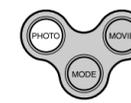
ハイブリッド撮影では、静止画撮影開始前と撮影後の様子を動画で記録することができます。

2 HYBRID スイッチを「HYBRID」にする。

[H]が表示されます。



3 PHOTO ボタンを押す。



前に約5秒間の、後ろに約3秒間の動画が同時に記録されます。

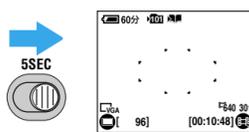
- 動画の画像サイズは、320 × 240 (15fps)です。MPEG-4 (MP4形式)ファイルで記録されます。

5秒REC

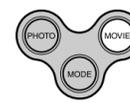
動画を撮影する時間を5秒間に固定することによって、静止画を撮るときと同じ感覚で撮影できます。

2 5SEC スイッチを「5SEC」にする。

[5]が表示されます。



3 MOVIE ボタンを押す。



[●●●●●]が表示され、1秒たつごとに●が1つずつ消えます。

- 録画の途中でMOVIE ボタンを押しても、撮影を止めることはできません。

ハイブリッド撮影について

- [設定]メニュー画面の[ハイブリッド撮影]を[前のみ]に設定すると、撮影前の約5秒間の動画だけを記録することもできます。
- ハイブリッド撮影では、以下の操作ができません。
 - 高速連写
 - マルチ連写
 - ブラケット撮影
 - オートレビュー
- ハイブリッド撮影は、通常の撮影に比べてバッテリーの消費が早くなります。

- 以下の場合、前後の動画部分が短くなる場合があります。
 - 連続して次の撮影をしたとき
 - 撮影の前後に、MODE ボタン、HYBRID スイッチでモードを切り換えたととき

- 前後の動画部分は、液晶画面に映る画像がそのまま記録されます。そのため、下記のような画像や音がそのまま記録されます。
 - AEロック時の動作とロック音
 - AFイルミネーターの光
 - ピクチャーエフェクトなどの設定を、静止画撮影の直前に変更した場合の設定変更状況
 - セルフタイマー音
 - 操作音

- 操作音を記録したくない場合は、[操作音]を[切]または[シャッター]にしてください。ただし、シャッター音は記録されます。

ハイブリッド撮影から通常の撮影に戻すには

HYBRID スイッチを元に戻してください。

5秒RECから通常の撮影に戻すには

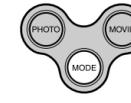
5SEC スイッチを元に戻してください。

5秒RECを延長するには

撮影中にもう1度MOVIE ボタンを押すと、さらに5秒間録画できます。

6 画像を見る/削除する

1 MODE ボタンを押して、再生モードにする。



再生モードランプが緑色に点灯します。

2 ◀(前)/▶(次)またはシャトルで画像を選ぶ。



静止画の場合: [O]を表示
動画の場合: [P]を表示

動画を再生するには

- を押す。ハイブリッド撮影した画像を再生する場合は、前の部分の動画→静止画→後ろの部分の動画の順番で再生されます。



巻き戻し/早送り: シャトルを左/右に回転 (通常再生に戻る: ●)
音量調整: ▲/▼
再生中止: ●

- ハイブリッド撮影した画像を再生する場合は、巻き戻し/早送り/一時停止はできません。

画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して[削除]ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。



削除を中止するには [終了]を選び、●を押す。

- ハイブリッド撮影した静止画を削除すると、同時に撮影された動画も削除されます。
- 画像を削除しても、アルバム内に保存された小サイズの同一画像は削除されません。

拡大して見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中にズームボタンをQ側を押すと、ズームできる。Q側を押すと戻る。ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶
ズーム中止: ●

- 拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」49ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

[インデックス]ボタンを押すか、ズームボタンをQ側を押して、▲/▼/◀/▶またはシャトルで画像を選ぶ。●を押すとシングル画面に戻る。次(前)のインデックス画面を表示するには、▲/▼/◀/▶またはシャトルで黄色い枠を上下左右に動かす。



もう1度押すと16画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に[削除]ボタンを押す、コントロールボタンの◀/▶で[選択]を選び●を押す。
- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶またはシャトルで選び、●を押して[削除]マークを付ける。



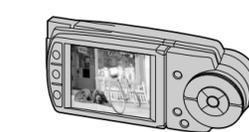
削除を中止するには 取り消したい画像を選んで●を押す、[終了]マークを消す。

3 [削除]ボタンを押す。

4 ▶で[実行]を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で◀/▶で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。

液晶画面を閉じて見る



再生モードのときは、液晶画面を外側に向けたまま閉じても本機の電源は切れません。液晶画面を閉じたまま画像を再生することができます。